

利用案内

9:00～17:00(入館は16:30まで)
金曜日のみ9:00～20:00(入館は19:30まで)
※特別展等の開催期間中は延長することがあります。

区分	入館料	備考
普通入館料	一般・大学生 620円	
	小・中・高校生 無料	
団体入館料	一般・大学生 310円	団体は20名以上
夜間天体観望	一般・大学生 310円	第1・3全曜日
	小・中・高校生 無料	晴天の日暮れから約2時間 ※事前申込制

毎週月曜日(日・月曜日が祝日・休日の場合は火曜日)
年末年始(12月28日～1月1日)、くん蒸期間(6月下旬頃)
※特別展等により変更することがあります。

ハローダイヤル 03-5777-8600



2015.7.14

館内ガイド

贊助會員募集中!

寄付会員募集中！

友の会会員・リピーターズパス募集中！

附属施設



武蔵野の面影をしのぶ
自然が残っています。
※天然記念物および史跡

多様な植生を再現しています。
天体観望施設などもあります。

開園時間

開園時間 9月1日～4月30日 9:00～16:30(入園は16:00まで) 5月1日～8月31日 9:00～17:00(入園は16:30まで) 入園料 一般・大学生 310円、小・中・高校生 無料 休園日	9:00～16:30(入園は16:00まで) [夜間天体観望] 第2・4土曜日、晴天の日暮れから約2時間 入園料 一般・大学生 310円、小・中・高校生 無料 夜間天体観望 一般・大学生 310円、小・中・高校生 無料
--	---

毎週月曜日(祝日・休日の場合は開園)	休園日
祝日・休日の翌日	毎週月曜日(祝日・休日の場合は開園)
(土曜・日曜の場合は開園)	祝日・休日の翌日
年末年始(12月28日～1月4日)	(土曜・日曜の場合は開園)
お問合せ	年末年始(12月28日～1月4日)
P108-0071 東京都港区白金台5-21-5	お問合せ
T03-3441-7176 (代表)	〒305-0035 茨城県つくば市天久保4-1-1
	〒290-0003 千葉県県民センター



自然史や理工学に関する
研究研修活動を行っています。

※オープンラボ等のイベントの際にのみ一般公開しています
〒305-0005
茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL 029-853-8901(代表)

展示の楽しみ方



【日本館・地球館 各階】 【有料:310円(障害者の方は無料)】



【無料】 **【有料:350円】**

「科博メールマガジン」配信中！

ご注意ください

- 館内での撮影について
- ・撮影者本人が個人的に使用する場合に限り原則として自由ですが、他のお客様のご迷惑にならないように、また他の権利者の権利を侵害しないよう、ご協力をお願いいたします。
 - ・以下の場合、撮影できません
 - 1.撮影禁止の表示のあるもの
 - 2.館内で上映されている動画
 - 3.シアター 360°の中
 - ・館内での一脚・三脚・自撮り棒の使用、及び団体集合写真の撮影はできません。
 - ・特別展・企画展はその都度事情が異なりますので会場入口に掲示しているルールに沿ってください。
- 展示室内でのご飲食はご遠慮ください。

地球館 地球生命史と人類



宇宙史・生命史・人間史の壮大な物語をテーマとした、標本・資料と映像でとらえた138億年を一望する時間の旅。地球館の展示室全体を繋げるシンボルゾーンとなります。

観測衛星には、変動する地球の様子を示す画像やデータを準リアルタイムで紹介。その観測技術の基礎である光や磁気などに則する物理学分野、多数の基礎研究を「遊び」の中から生み出す観客のコミュニケーションを通じて、感じる力、考える力、考えることと目的としている。

4~6歳の子ども様とその保護者の方を対象とした展示室。遊びの中から生み出す観客のコミュニケーションを通じて、感じる力、考える力、考えることと目的としている。



多くの種に分かれて進化してきた生物たちが、さまざまな環境に適応し、独自の形態や生活様式を持ちながらお互いに深くかかわりあって生きてる姿を紹介します。	江戸時代以降の科学技術が、日本固有の文化に根ざしつつ、外国の文化を受け入れながら発展してきた歩みを紹介します。	地球環境の豊かさの証として、さまざまな哺乳類と鳥類の存在があります。力強く生きてきたときの彼らの姿が、今もその魅力を放ち続けています。
---	--	--



現代の爬虫類と鳥類は全く異なる生きものであるが、恐竜の研究を通じてその進化的連続性が水と明らかになった。また、恐竜の起源、大滅亡、多様化、絶滅とその謎はつきまぎるものや言わねばならないが、私たちがどれだけ多くの証書を聞き出すことができるのでしょうか。	およそ40億年前に誕生した生命は、大きく変動する地球環境の中で生息と絶滅を繰り返して進化を遂げてきました。大発生した哺乳類の中から人類が生まれ、世界中にひろがりました。その進化の道のりとはどうなります。	広大な宇宙や神秘的な生命、それを構成する物質と、これらを支える法則——それらを知ること、すべての科学的認識の基礎といえるでしょう。私たちの視野を広げ、自然についての理解を深めてきた探究の成果と、それに貢献した人々を紹介します。
--	--	--

およそ40億年前に誕生した生命は、大きく変動する地球環境の中で誕生と絶滅を繰り返して進化を遂げてきた。大発展した哺乳類の中から人類が生まれ、世界中にひろがりました。その進化の道をたどります。

広大な宇宙や神秘的な生命、それを構成する物質と、これらを支配する法則——それらを知ること、すべての科学的認識の基礎——をうけとれよう。私たちの視野を広げ、自然についての理解を変えてきた探究の成果と、それに貢献した人々をご紹介します。

広大な宇宙や神秘的な生命、それを構成する物質と、これらを支配する法則——それらを知ることは、すべての科学的認識の基礎といえるでしょう。私たちの視野を広げ、自然についての理解を変えてきた探究の成果と、それに貢献した人々をご紹介します。

国立科学博物館 (地球館・日本館) 施設MAP



日本館 日本列島の自然と私たち



四季の変化に恵まれ、季節風と海流の影響を強く受ける日本列島。ここでは地殻変動・火山活動も活発です。その複雑な自然環境は、多様な生き物たちを育んできました。日本列島の豊かな自然の姿を紹介します。	約170万年前から続く氷期と間氷期の繰り返しの中で、大から日本列島に移り住んだ生物たちが、日本列島の複雑な自然環境に適応しつつ独自の分化を遂げた様子を紹介します。	移り変わる季節と多様な自然の中で培われた細やかな観察眼と、日本の生活の中で育まれた独創性。自然をみる技を通じて、日本人の科学と技術に関わる活動の跡をたどります。
---	--	---



数多くの生き物たちが繁栄と絶滅を繰り返してきた日本列島。地層に刻み込まれた生き物たちの痕跡は、この列島が成立するまでのダイナミックな変動の歴史を物語ってくれます。

約4万年前、私たちの祖先は、森と海の恵みにあふれた日本列島を見いだしました。この豊かな自然の中で今日の日本人が形成された過程と、自然とのかわりつきの歴史を紹介します。

季節毎に様々な企画展示やイベントを開催します。



360度全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感や迫力が味わえる映像施設です。当館オリジナルのプログラムを組みたけました。

この展示では、振子の揺れる方向が変わって様子が観察できます。物理学者フーコーはこの振り子で地球の自転を証明しました。

日本館は、昭和3(1928)年4月に着工し、昭和6(1931)年9月に竣工。文部省大臣官房建築課の設計したネオルネサンス様式を基調とした建物で、当時の科学技術の

この展示では、振子の揺れる方向が変わっていく様子が観察できます。物理学者フーコーはこの振り子で地球の自転を証明しました。

日本館は、昭和3(1928)年4月に着工し、昭和6(1931)年9月に竣工。文部省大臣官房建築課の設計によるネオルネサンス様式を基調とした建物で、当時の科学技術の象徴であった飛行機型のデザインとなっています。

3F

観とすのたんけんひろは
コンパス
お子様と保護者の方が一緒に
楽しみ展示室です。必ず一緒
にご利用ください。主な対象は 4〜
6歳のお子様とその保護者の方で
すが、0〜12歳の方も一緒に入
室いただけます。
※ご利用には人数分の整理券が必要です。整
理券は地球館インフォメーション(1階)で受
け取れます。
※お子様だけのご利用、13歳以上の方だけで
のご利用はお断りしています。

2F

科学技術で
地球を探索

A. 観測ステーション
① 観測ステーション
B. 地球を探索サイエンス
② 地表を探索
③ 地球の内部を探索

1F

地球史
ナビゲーター

1. 地球史ナビゲーター
① すべては原子でできている
② 宇宙史
③ 生命史
④ 人間史
⑤ タイムラインステージ

M2F

「科学技術の偉人たち」肖像レリーフ

1F 地球館インフォメーション前の階段、または 2F からの下りエスカレーターをご利用ください。

RF

[地球館屋上]
ハーブガーデン

3F

1. 進化の頂点・野生大型獣
① 進化の頂点・野生大型獣
2. 動物たちが生きるための知恵
③ 動物たちが生きるための知恵
3. サバンナの哺乳類
④ サバンナの哺乳類
4. われわれの隣人
⑤ われわれの隣人
5. 絶滅の淵で
⑥ 絶滅の淵で
6. 鳥の多様な形
⑦ 鳥の多様な形

B1F

地球環境の変動と生物の進化
—恐竜の謎を探る—

1. 恐竜の謎を探る
① 竜盤類恐竜の進化
② 鳥盤類恐竜の進化
③ 中生代最後の日
特別展示室

B2F

地球環境の変動と生物の進化
—誕生と絶滅の不思議—

1. 46億年の散歩道
① 46億年の散歩道
2. 地球のおいたちを調べる
② 地球の営みの記憶
③ 化石が語る地球の歴史
3. 絶滅と進化を
うながす地球環境
④ 地球環境変動の記録
⑤ 生物の大量絶滅
⑥ 環境変動と生物の変遷
⑦ 微化石
4. 海で起こった
生物の爆発的進化
⑧ 先カンブリア時代の生物
⑨ ペンド紀の生物群
⑩ パーミッシュ群
⑪ チェンジャンの奇妙な動物群
⑫ 古生代の無脊椎動物
⑬ 三葉虫の繁栄
⑭ 魚類の発展
5. 陸上に進出した生物
⑮ 陸上への第一歩
⑯ 森林の形成
6. 陸上を支配した哺乳類
⑰ 哺乳類の起源
⑱ 中生代の哺乳類
⑲ 森林にすむ哺乳類
⑳ 草原〜乾燥地にすむ哺乳類
㉑ 鳥大陸の哺乳類
㉒ 重量型の哺乳類
㉓ 肉食性の哺乳類
7. 水に戻った四肢動物
㉔ 水に戻った四肢動物
㉕ 水生哺乳類のフォーランナー
㉖ 水の中での収斂適応
㉗ 新たな食の開拓者
㉘ 巨大な海生爬虫類
㉙ 海を泳いだ鳥類
8. 空を飛んだ脊椎動物
㉚ 空を飛んだ脊椎動物
㉛ 9. 人類の進化
㉜ 霊長類の進化
㉝ 猿人の進化
㉞ 原人・旧人の進化
㉟ 古代人の復元
㊱ 新人の進化と世界拡散
㊲ 新人の拡散 再びアフリカから
㊳ 新人の拡散 ユーラシアへ
㊴ 新人の拡散 オセアニアへ
㊵ 新人の拡散 北部ユーラシアへ
㊶ 新人の拡散 アメリカへ

B3F

自然のしくみを探る
—私たちの世界はどのようにできているのか—

0. 日本の科学者
① 自然科学系ノーベル賞受賞者
—科学者の個性と創造性—
② 日本の科学を築いた人々
—科博の所蔵資料を中心として—
1. 法則を探る
③ 素粒子の世界を探る
—KEKB 加速器と Belle 測定器—
④ はかる
⑤ 電気と磁気をはかる
⑥ 温度をはかる
⑦ 放射線とエネルギー
⑧ 光の速さ
⑨ 重力
2. 宇宙を探索
⑩ 宇宙を見る眼
⑪ 天体を見よう
⑫ 宇宙の階層構造
⑬ 太陽系
⑭ 恒星・星雲・星団
⑮ 銀河と銀河団
⑯ 超銀河団と宇宙の大規模構造
⑰ 宇宙膨張とその起源
3. 物質を探索
⑱ 物質の階層構造
⑲ 周期表—元素の多様性—
⑳ 分子のかたち—物質の多様性—
㉑ ナノの世界を探索
㉒ 物質の究極の成り立ちを探索
㉓ マクロの性質とミクロの性質
㉔ 機能性物質
㉕ 環境にやさしい化学をめざして

2F

北翼 日本人と自然

1. 日本人の旅
① 歴史を旅する日本人
2. 日本列島における
人類史のはじまり
後期旧石器時代の祖先たち
3. 巧みに生きる縄文人
列島に行き渡る採集狩猟文化
④ 骨を読む
—縄文人はどんな人々だったか—
⑤ 縄文の暮らし
4. 大陸から来た弥生人
新たに展開する水田稲作文化
⑥ 骨を読む
—弥生人はどんな人々だったか—
⑦ 弥生の暮らし
5. 現代日本人の形成
⑧ 地域集団の変遷
⑨ 琉球人・本土人・アイヌ
6. 骨からわかる祖先たちの暮らしと健康
⑩ 骨は語る
⑪ ほんの少し前の祖先
7. 人と社会を取り巻く生き物
⑫ 日本人が発見してきた自然
⑬ 持ち込まれた生き物たち
⑭ 追われる生き物たち
⑮ 日本人が育んだ生き物たち
8. 日本人と自然のいとなみ
⑯ 多様なイネ
⑰ 稲作に伴う環境の変遷
⑱ イネと技術の発展

1F

中央ホール

ネオルネッサンス様式の日本館の
中央部分は吹き抜きのホールとなっています。
展示を見た後は、白壁のドームとやわらかい光が
差し込むステンドグラスの美をお楽しみください。

3F

北翼 日本列島の生い立ち

フタバズスキリュウ
1. 日本列島の骨組み
① 日本列島に残る大陸の記憶
② 付加体を構成する岩石
2. 日本列島誕生前
③ 日本最古の化石
④ サンゴが栄えた海
⑤ 腕足動物のパラダイス
⑥ 古生代の森
⑦ 世界最古級の魚竜
ウツサウルス
⑧ 化石で地層の時代を知る
⑨ 中生代の森
⑩ ウミウリの園
⑪ 日本で初めて発見された恐竜
⑫ コンボウガキの礁
⑬ アンモナイトの海
⑭ 植物化石？それとも生痕化石？
3. 日本海の誕生と日本列島の成立
⑮ 石炭をつくった森
⑯ 日本海誕生の直前
⑰ 日本海の誕生とビカリアノ海
4. 氷期と間氷期
⑱ メタセコイアの林
⑲ 日本にゾウがいた頃
5. トビックス展示
⑳ 化石化学合成群集
㉑ 深海生物の化石

2F

6. 骨からわかる祖先たちの暮らしと健康
7. 人と社会を取り巻く生き物
8. 日本人と
自然のいとなみ
1. 日本人の旅
2. 植物たちの適応戦略
3. 海に隔てられた動物たち
4. 気候に合わせる
5. 現代日本人の形成
6. 大陸から来た弥生人
7. 巧みに生きる
縄文人
8. 天を知る
—天球儀・天文—
9. 地を知る
—地盤計—
10. 時を知る
—時計—
11. 微小を知る
—顕微鏡—

3F

南翼 日本列島の素顔

1. 南北に長い日本列島の自然
① 日本列島の季節と自然
② 亜熱帯
③ 暖温帯
④ 冷温帯
⑤ 亜寒帯
⑥ 日本を代表するコケ、地衣、
キノコ、変形菌、淡水魚
2. 日本列島を囲む豊かな海
⑦ 日本列島を囲む海の特徴
⑧ 黒潮温帯海域
⑨ 黒潮亜熱帯海域
⑩ 日本海
⑪ 親潮亜寒帯海域
3. 変動する日本列島
⑫ 日本列島の地質
⑬ 日本周辺のプレート配置ともぐりこみ
⑭ 日本の鉱物
⑮ 日本に落下した隕石

2F

南翼 生き物たちの日本列島

1. 渡来と分化の足跡
① DNA が明かす生物史
② 島が語る形の変化
③ 熱帯・亜熱帯起源の海産動物
2. 植物たちの適応戦略
④ 地史と関係する植物
⑤ 高山に残った氷河時代の植物たち
⑥ 特殊な地域に分布する植物たち
3. 海に隔てられた動物たち
⑦ 脊椎動物が語る島々の歴史
⑧ 南西諸島に固有な陸貝たち
⑨ 昆虫の種分化のメカニズム
⑩ プラキストン線と島たち
⑪ 小笠原諸島の生き物
4. 気候に合わせる
⑫ 北で大きく、南で小さく
⑬ 雪を味方に生きる